

20

## シンガポール/シンガポール

総面積: 719.9km<sup>2</sup> / 人口: 561万人 /  
人口密度: 7,796人 / km<sup>2</sup>



## 都市の現状

シンガポールは、マレー半島南端に位置する都市国家で、本島及び62の小島で構成されている。本島は埋立てにより拡大し、高度に都市化されている。海運上極めて重要なマラッカ海峡に接し、チャンギ空港もハブ空港として重要な役割を果たすなど交通の要衝である。また、東南アジアで最大の工業国かつ金融センターとしての地位は不動である。

## スマートシティ行動計画

ビジョン：技術を通じてシンガポールを変革する。

重点分野：デジタル政府、デジタル経済、デジタル社会

## Project 1 : e-ペイメント

- ・シームレスで安全かつ統合された電子決済プラットフォーム、キャッシュレス決済のオプション及びビジネスプロセスへの電子決済の全面的な統合を実現する。

## Project 2 : ナショナル・デジタル・アイデンティティ (国民電子身分証)

- ・官民両部門においてシームレスで安全な取引に使用するために、デジタル領域において個人の身元を証明する手段としてナショナル・デジタル・アイデンティティ (NDI) を全土で使用できる手段として確立する。
- ・2020年に運用が開始される予定

## 取組み状況

スマートネーション開発計画が進行中であり、中でもナショナル・デジタル・アイデンティティ及びe-ペイメントプロジェクトにおいて目標達成に向けて順調に進めている。

## Project 1

2019年前半、PayNowは、約46億ドルに相当する2,800万件の取引を処理した。これは、前年度同時期の取引数の4倍であり、取引額で500%増を記録した。近年、シンガポール政府は、すべての公共機関がPayNow (P2P (ピアツーピア)型決済ツール)を協調導入するための一括入札を発表した。シンガポールのデジタルガバメント実施計画では、2023年までにすべての政府サービスにおいて電子決済のオプションを提供することを目標に定めた。

## Project 2

シンガポール政府は、2018年10月にSingPass モバイルアプリをリリースした。それ以降、50万回以上のダウンロードがあり、今後シンガポール国民が政府及び民間部門のデジタルサービスを全国規模で安全に利用するための重要なプラットフォームになる。シンガポール政府検証済みのデジタルポータルであるMyInfoは、銀行及び地域で成功しているIT企業 (Carousell や Grab など) を含め、多くの民間部門のサービスに統合されている。シンガポールは、自国のデジタル・アイデンティティを国際的なパートナーとどのように相互承認できるかに関心がある。



スマートシティ最高責任者

Mr. Tan Chee Hau / 首相府 スマートネーション・デジタルガバメント・オフィス (計画・優先順位設定本部)  
ディレクター / Email : TAN\_Chee\_Hau @pmo.gov.sg